

第2学年 道徳科学習指導案

指導者 照沼 美香

- 1 **主題名** みんなが使うみんなのもの C 規則の尊重
- 2 **教材名** 「きいろい ベンチ」(出典：文部科学省 一部改作)

3 主題について

(1) 内容項目

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること(第1学年及び第2学年)

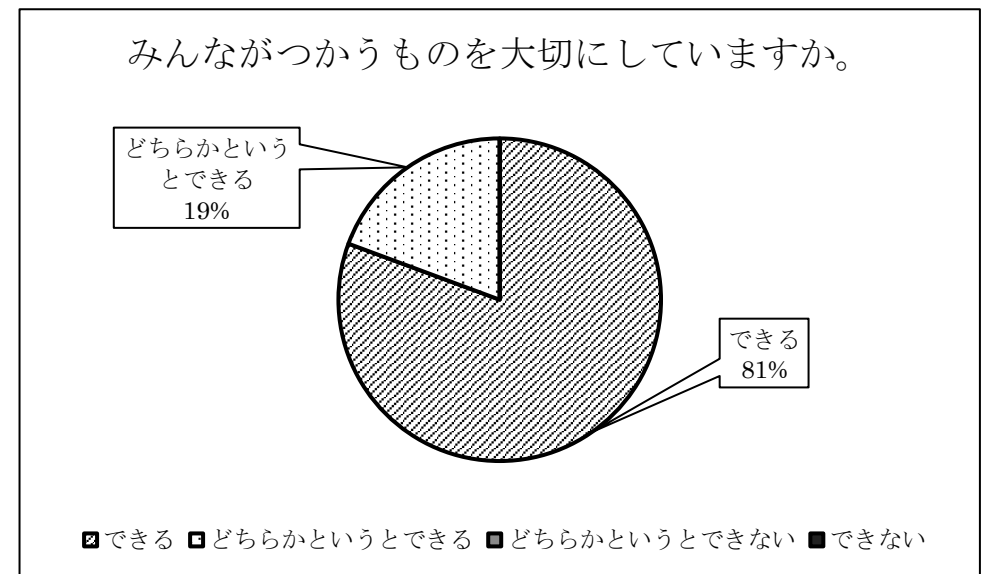
(2) ねらいとする価値

本主題は、小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編における、C「主として集団や社会との関わりに関する事」の「(10) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること」に関する内容項目である。約束を守ることやみんなが使うものを大切にすることの大切さについて理解することができている児童が多い。しかし、実際の生活場面で常に周りに気を使って行動したり、後先を予測して行動したりすることはまだ難しい。本時では、遊びに夢中になってしまったことで失敗してしまった登場人物の心情を考えることを通して、そのことの難しさに気づき、周囲の人のことを思いやり、みんなが使うものを大切にしていこうという心情を育てていきたい。

4 価値にせまるための事前アンケート

2組の児童は、約束やきまりを守らなくてはいけないことは知っており、授業の始まりに、声をかけ合って着席するなど協力して約束を守ろうとする態度が見られる。しかし一方で、自分のことを優先して決まりを守れないこともある。また、みんなの物を使ったあとに、元に戻さないこともあり、誰かに迷惑をかけることを十分理解していないからと考えられる。

そこで、本主題を取り上げ、みんなが使う物を大切に、みんなが気持ちよく過ごすことができるようにしようとする道徳的心情を養いたい。



1 / 1 時間目

本時の
目 標

・約束やきまりを守り、みんなが使うものや場所を大切にしようとする態度を育てる。

本時の
評 価

・約束やきまりを守り、みんなが使うものや場所を大切にしようとしている。

さし絵

「みんながつかうものや場所を大切にしよう。」「みんながつかうものや場所を大切にしよう。」

さし絵

・わるいことしたな
・スカートよごしちゃった
・ベンチにのらなければよかった

さし絵

・楽しいな
・おもしろいな
・もつと とばしたいな

きいろいベンチ

だい 二十三 回道とく

授業改善のポイント



見通しをもって粘り強く取り組む

身近なものや場所を提示することにより、具体的に考えられるようにする。



思考を表現に置き換える

役割演技で自分の考えを表現することにより、登場人物の気持ちに共感できるようにする。



振り返って次につなげる

今までの自分を振り返ることで、今後の実践意欲がもてるようにする。

①つかむ

- 身の回りの公共物について確認する。
- ・事前アンケートで出てきた身近にある公共物を提示する。
- 教材文を聞く。
- ・「きいろい ベンチ」を紙芝居にして範読する。

②考える・学び合う

- 「たかし」と「てつお」が、ベンチの上から紙飛行機を飛ばしているとき、どんなことを考えているかを発表し合う。
- ・紙飛行機を飛ばす場面を動作化させる。
- 女の子がその後どうなったかを予想する。
- 女の子を困らせたことに気付いた登場人物は、どんなことを思っているかを話し合う。(グループ)
- ・「たかし」と「てつお」の役割演技をさせる。
- ・自分勝手に使うことで、女の子に迷惑をかけたことに気付かせる。

③振り返る

- 「みんなが使うものや場所」を使う時、どんな心があればよかったのかを考え、書く。
- ・「たかし」と「てつお」に必要な心について考えさせることで、「みんなが使うものや場所」を使う時に大切なことに気付かせる。

- 今までの自分を振り返り、「みんなが使うものや場所」を大切にできたことやできなかったことを書く。
- ・これまでの経験から書かせる。
- 書いた経験を発表する。
- 教師の話聞く。